

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

自分から進んで学び、活動する児童の育成

＜本年度の学力向上策＞

1 安心感のある学級集団づくり

- (1) 教師と児童の信頼関係を深めるために、「勇気づけの極意」をもとにした声かけや行動を積極的に行う。
- (2) 児童同士の信頼関係を深めるために、「認め合い名人」「あいづち名人」の活用を積極的に行う。

2 協同的問題解決力を高める授業の推進

- (1) 2学期と3学期に、国語科と学級活動において、協同的問題解決力を高めるための研究授業を実施する。
- (2) 「個」で学習に取り組む時間、「協働」で学習に取り組む時間を確保し、効果的に学習を行うことにより、基礎・基本の内容を含め、学習内容の定着を図る。

3 学習環境づくり

- (1) 本校の子どもたちの約束である「あおぎりっ子5つのやくそく」の徹底を図ることで、学習するにふさわしい環境づくりに努める。
- (2) 教材教具の整備や整頓などを行う。
- (3) 木曜日に「朝学習」の時間を設定し、全学級において、国語や算数を中心とした既習事項の定着を図る取り組みを実施する。

＜本年度の振り返り＞

- ・学校独自で実施しているアセス（学級全体と児童生徒個人のアセスメントソフト）の結果から、教師と児童の信頼関係や児童同士の信頼関係に深まりがみられた。また、「認め合い名人」や「あいづち名人」の活用を様々な場面で行った。
- ・国語科と学級活動の研究授業を通して、協同的問題解決力を高める手立てについて、教員が理解を深めた。また、研修をもとに、各授業で意図的に「個」の学習と「協働」の学習を組み合わせた授業を実施した。
- ・各学年・学級で「あおぎりっ子5つのやくそく」の徹底をはじめ、学びやすい学習環境づくりに努めた。